

GNH 研究所 2013 年 12 月定例会合 議事録

■概要

日 時 : 2013 年 12 月 14 日(土) 10:00~13:15
場 所 : 早稲田大学(早稲田キャンパス) 16 号館 606 教室
参加者 : 12 名

■内容

【発表】 山根大典氏「ブータンの若者事情とその今後」

- ・ 若者を取り巻く環境
- ・ ブータン人の性格
- ・ ブータンのダンスについて
- ・ ソナムの経験と私たちのダンスでの活動
- ・ 最近のブータンの流行
- ・ 受け入れられること、受け入れられないこと
- ・ そこから見えること
- ・ 今後のブータン

【ワールドカフェスタイルでの話し合い】

- ① 山根さんのお話を伺って、率直にどんな感想を持ちましたか？
- ② 日本でも、「最近の若者は…」とよく言われます。そのような事例を挙げてみましょう。また、どんなことが問題になっているでしょう？
- ③ 新しい、多様な価値観を持つ若者たちと共に国全体で幸福を追求していくために、考えていかなければならないことは？

=====

【発表】 山根大典氏「ブータンの若者事情とその今後」 (10:05~)

若者を取り巻く環境

- ・ 人口の 56%が 25 歳以下
- ・ 教育について:義務ではない、英語での教育、落第(全体の 10%くらい)あり、退学あり
- ・ 仕事について:学歴社会、知り合い・繋がりで見つける、アルバイトはなし

ブータン人の性格 ← 仏教・小さいコミュニティが影響

- ・ 継続的な努力は苦手
- ・ 友達には良くする
- ・ すぐ仲良くなる
- ・ 否定はあまりしない
- ・ 常識をもった行動をする人が多い

ブータンのダンスについて

- ・ シュンダ
- ・ ベダ
- ・ リゲセル

ソナムの経験と私たちのダンスでの活動

- ・ ソナム・リンチェン(21歳):ダンスチーム「Hi Druk」のメンバー
- ・ 日本語の勉強 → スリランカ&日本に行く機会を得る → いろいろな刺激を受ける → イベントの開催

最近のブータンの流行

- ・ 街角スナップ:私服:韓国の影響 ← 外の文化
- ・ ファッションショー
- ・ 女の子に人気のお店
- ・ アミューズメント
- ・ クラブの様子

受け入れられること、受け入れられないこと

- ・ アツアラエンターテイメントの曲
 - ＋の意見:賞賛の声多数、facebook等で多くシェアされている、完成度が高い
 - －の意見:欧米文化の影響が強くなる
- ・ ジャッターの曲(「くそっ」):先生の前では使わない、若い世代で使う、良い意味にも使う
 - ＋の意見:賞賛の声多数、ライブの一体感は気持ち良い、ラジオでも人気
 - －の意見:子供が真似をする、クラブやライブでは良いけれども家では聞きたくない

そこから見えること

若者

- ・ 基本的に政府、国のやりかたを尊重
- ・ 結構わきまえている

- ・ 新しいことはどんどん試している

上の世代

- ・ 政府、国も新しいことには寛容的
- ・ 汚い言葉、教育に悪いことは賛否両論
- ・ 場をわきまえれば良いという意見もある

今後のブータン

- ・ 反社会的な動きがでる可能性も十分ある
- ・ ネットからの情報は他の国と変わらない
- ・ 「ブータン」ということを前面に押し、いろいろな分野で活用しようとするのではないか？

質疑応答

Q 退学した生徒の受け皿は？

A 遠い県の学校に行く例もある。

Q 生徒の平均的な通学時間は？

A 首都近郊の生徒は遠くても1時間くらい、田舎では寮生活の生徒も多い。

Q 就学率等は？

A (平山(雄)補足)最新の教育省の統計によると、初等教育総就学率 116%(純就学率 96%)、後期中等教育総就学率 55%、高等教育就学率 18%、初等教育流年率 5.5%、クラス 6 残存率 79%、クラス 10 残存率 60%、15 歳以上成人識字率 55%等。

Q 体育を教える教員がいない場合は授業が行われない？

A そういう例もある。教員養成校で養成しているが、体育教員はまだまだ足りない。

Q 学校の科目としての体育の重要性は認識されている？

A 健康に良い、というかたちでは認識されている。「Game & Sport」という概念が強い。

Q 子供の非行の原因は？大人はそういう問題をどう考えているか？

A 家庭環境・状況が影響しているケースが多い。

Q 生徒の個々の問題に学校は介入する？

A 家庭訪問や親の呼び出しをすることもある。赴任先の学校には1人カウンセラーがいた。

Q ダンスの観点からみると、伝統的なものは継承されているか？

A バーでベダが踊られる等、若者文化に伝統は混在している。ゴ・キラの着方は工夫をする例も多い。「伝統的なものをどこまでアレンジしてよいのか？」はこれからも議論がなされるはず。

Q 「ブータン・ブランド」を嫌う若者はいる？

A いる。ただし、外国に出てもブータン・コミュニティに固まる傾向がある。

【ワールドカフェスタイルでの話し合い】 (11:40～)

ディスカッション 1

山根さんのお話を伺って、率直にどんな感想を持ちましたか？

※出された意見の一部

- ・ 今まで知らなかったブータンの側面を知れた。
- ・ やはりメディアの影響が強いのでは？

ディスカッション 2

日本でも、「最近の若者は…」とよく言われます。そのような事例を挙げてみましょう。また、どんなことが問題になっているでしょう？

※出された意見の一部

- ・ スマホ依存：画面を通しての人間関係に重きを置いている(ブータンも日本も？)。

ディスカッション 3

新しい、多様な価値観を持つ若者たちと共に国全体で幸福を追求していくために、考えていかなければならないことは？

※出された意見の一部

- ・ 近くに尊敬できる大人がいると社会・国がまとまる。
- ・ ある意味制限されたもの＝例)「GNH」を通して国の体制を整える、という視点もある。

以上